



板持 文子 議員

新型コロナウイルス感染症予防接種における自己増幅型レプリコンワクチンについて

問

市は、自己増幅型レプリコンワクチンの有効性と安全性について把握しているか

答

国の責任においてワクチンの有効性や有害事象等を慎重に確認したうえで承認されるものと判断しております

理学会からも緊急声明で懸念

が表明されている。今後レプリコンワクチンが定期接種に用いられることが想定されていることから、以下質問する。

問

市は、自己増幅型レプリコンワクチンの有効性と安全性について把握しているか。

答

健康福祉部長

自己増幅型mRNAワクチンは、接種することで、体内で免疫反応を起こすmRNAが自己増殖を続けるところに特徴があります。このため、既存のワクチンよりも少量の

接種量でも効果が持続し、副

反応も少なく抑えられるとされています。現在、自己増幅型mRNAワクチンは、起源株に対するものが薬事承認されて

いますが、10月からの接種に使用される「オミクロン株JN-1系統対応ワクチン」

については、薬事承認の手続き中であると認識しており、

薬事承認にあたっては、国の責任においてワクチンの有効性や有害事象等を慎重に確認

したうえで承認されるものと判断しております。

問

今回の一般質問の内容など懸念事項を医師会や医療機関に情報共有していただけるか。

答

健康福祉部長

国から示される情報について共有してまいります。また、今後、国からワクチンに関する新たな情報等が示された場合には、速やかに医師会や医療機関との情報共有に努めてまいりたいと考えています。

その他の質問

市立図書館の持続的な運営について